

## 生 活 指 導

豊かな高校生活を送るためには、高校生としての自覚を持ち、集団としての規律を守り行動することが必要である。

以下の心得は、学校生活のきまり、各自のあり方を、最少限に定めたものである。このことを考え、各自の良識に基づき、自律心を持ち、充実した高校生活を送れるように心掛けること。

### 1. 生活態度

- (1)学校の内外を問わず、教職員・来客に対してはもちろん、生徒相互でも挨拶する習慣を身につける。
- (2)言葉づかいについては状況を適切に判断し、品位を落とさぬように留意する。
- (3)他人に対して適切な態度で接し、互いの人格を尊重するよう心がける。

### 2. 服 装

勉学にふさわしい服装とは何かを自分で考え、選んで着てくること。始業式、遠足、卒業式などの行事の際にも、それぞれの場を考慮し、服装を選ぶこと。ただし、装飾品は望ましくない。

標準服、校章、体育活動時の服装、上履き、については次の通りである。

#### 標準服

標準服としては、詰襟・黒・学生服上下と本校指定の濃紺・スーツ型の2つがある。

#### 校章

身に着ける場合は、襟または胸につける。

#### 体育活動時の服装（部・同好会活動時は任意）

体操服および体育館用の靴は本校で指定した学年色のものを着る。

グラウンド用の靴は運動靴とする。

#### 上履き

校内では、本校で指定した学年色の上履きを着る。なお、健康上の理由で異装が必要な場合は、担任と相談のうえ、登下校用の靴とは区別すること。（許可申請は担任を通じて、生活指導部へ行うこと。但し、定型の様式は作成しない。）

#### その他

頭髮のパーマ、染色、脱色などは厳に慎むこと。